



新聞データベースで榛高の軌跡をたどる



榛原高等学校

新聞記事検索システム導入事例 vol.104



Thanks!
2020
120th
anniversary

私たちの学校

Our school



わたなべ しょうじ
渡邊 昇司

榛原高等学校 校長

情報共有・広報活動に活用

榛原高校は、本年度文部科学省の「地域との協働による高等学校教育改革推進事業（グローバル型）」の指定校となりました。地域についての確かな理解とグローバルな視野を合わせ持つグローバルリーダーを育成することを目的とした事業に取り組んでいます。

今年の夏には、アメリカ合衆国への海外研修、沖縄への国内研修、校内では企業人講話やイングリッシュキャンプなどを実施し、

地域社会と世界を知る活動を行っています。

「静岡新聞データベースplus日経テレコン」導入以降、静岡新聞や日本経済新聞に掲載された本校の記事はすぐに取り出せるので、情報共有・広報活動のために活用しています。

今までのように新聞を切り抜く手間が省け、必要な記事をデータとして美しく保存することができるので、校内に掲示し、情報共有を図っています。さらにホームページにも利用することで、本校の取り組みや生徒の活動情報を、新聞を見逃した方や県外の方にも発信できます。

本校は2020年に創立120周年を迎えます。歴史と伝統を次の世代に受け継いでいくために、「静岡新聞データベースplus日経テレコン」をさらに活用し、本校の軌跡を振り返るとともに、今後の活動を蓄積していきたいと考えています。

副校長 田形 和彦

「探究活動」のツールに利用

本校では、総合的な探究の時間を「榛高タイム」と銘打ち、主に地域課題について探究活動を実施しています。地域に密着した企業や行政の担当者からさまざまな講話を聴いたり、企業への訪問や、インターネットを活用した調べ学習などに取り組んでいます。また、教科横断的な学びの中で、特に親和性の高い現代社会や政治・経済の授業では、理論として学んだことと実際の世の中との関連性が非常に重要になってきます。その



ICT教育に新聞データベースを活用する芹澤教諭

ような時、活用するのが「静岡新聞データベースplus日経テレコン」です。

例えば、公民科で住民投票について学びましたが、それが自分たちの地域で実際どのような形で行われているのか記事検索し、それを題材にグループワークを実施します。これにより、理論がよりはっきりとした形となって生徒自身の印象に強く残り、地域課題探究について、より高い次元の学びへ向かうきっかけとなっています。

教育改革が叫ばれている昨今、現在の高校生にはさまざまな力が要求されています。生徒たちが、目の前にある現実の課題に主体的に向き合うための題材として「静岡新聞データベースplus日経テレコン」を活用し、今後の進路実現に向かっていくことを切に願っています。

地歴公民科主任 芹澤 篤志

新聞記事はデジタルデータですぐに取り出せるので便利と話す田形副校長



〔当サービスのご利用について〕静岡新聞データベースplus日経テレコンは、インターネットを通じて提供する有料・会員制のサービスです。サービスご利用には、契約お申し込みが必要です。〔利用料金〕サービスご利用には、ご契約の当初料金、月額固定料金がかかります。

地元密着の静岡新聞、国内外の経済情報を網羅する日本経済新聞の情報を同時に検索

静岡新聞データベース plus 日経テレコン

■お問い合わせ

静岡新聞社 総合メディア局

TEL 054-284-9661 (平日 9:00~17:00)



静岡新聞

